USER'S MANUAL

はじめに

この度は、弊社製品「NIKO²〜にこにこ〜」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ゲームを始める前にこのマニュアルをお読みいただきますと、より楽しく遊ぶことが出来ます。また、ハード設定の項には一通り目をとおしておくことを、おすすめします。

紹介〜NIKO²とは？

「NIKO²〜にこにこ〜」……。この不可解なネーミングセンスに眉をしかめる方もおられるかとは思いますが、この名前こそがNIKO²というゲームの全てであり、全てを的確に表現しているといっても過言ではありません(?)。
そしてこれを読み終える頃には貴方も納得していることでしょう。

このゲームの基本は、1P VS 2Pのサッカーゲームといったところです。シューターからあふれるように飛び出してくる、色とりどりのボール。その膨大な数にあなたはきっと驚くでしょう。

敵よりも多くボールを自分のゴールにたたきこむことが勝利への道なのです。

あなたはきっと思うことでしょう。こんなにたくさんのボールを考えてさばけるわけないだろう！と。

しかし、きっと気付くはずです。このゲームの「戦略」が。

そして、きっとできるはずです。このゲームの「攻略」が。

マニュアルにはゲームの「要素」しか示されていませんが、
理解できればそこから何か道が見えてくると思うのですが……。

いかがでしょう？

もくじ

その1 ハード設定

■本マニュアルは、X68000、FM・TOWNS、PC98、PC88、MSX2の5機種のハード設定を、以下の番号順に説明しています。
それぞれのお手持ちの機種に対応した項を参照して下さい。

Ⅰ・X68000
Ⅱ・FM・TOWNS
Ⅲ・MSX2
Ⅳ・PC8801
Ⅴ・PC9801

I・X68000

A・ハード設定

・X68K HDタイプ
ハードディスクを使用しているユーザーの方は、〔OPT・1〕キーを押しながら本体の電源を入れ、立ち上げて下さい。
〔OPT・1〕キーはタイトルデモが始まるまで押したままにして下さい。
・本製品は、XVI（エクシヴィ）にも対応しております。

B・立ち上げ方

・本体の電源を入れてドライブ0に「ディスク1」をセットしてリセットボタンを押して下さい。
・MIDIをつけてご使用の方
ドライブ0に「ディスク1」をセットして、〔登録〕キーを押したまま電源を入れて下さい。
〔登録〕キーはタイトルデモが始まるまで押したままにして下さい。
・MIDIとハードディスクの両方を使用している方は、〔OPT・1〕と〔登録〕キーの二つのキーを押したまま電源を入れて下さい。

C・MIDI

・本製品は以下のMIDI音源に対応しています。お手持ちのMIDI音源が対応しているかどうか確認して下さい。

ローランド社製（MT－32）
（CM－32L）
（CM－64）

・接続　X68000にMIDIを接続するためには

1 別売りのMIDIボード　（CZ－6BM1（SHARP））
（SX－68M（システムサコム））
2 対応しているMIDI音源
3 MIDIケーブル

が必要です。それにつなぐ端子を間違えないように接続して下さい。
それぞれの詳しい接続方法については、MIDIボードやMIDI音源に付属のマニュアルを参照して下さい。

II・FM・TOWNS

A・立ち上げ方

本ソフトウェアのCD－ROMを、CD－ROMドライブにセットして本体の電源を入れて下さい。
タイトルデモがスタートします。

※要2M RAM
※1人プレイ時はマウスを必ず取り外して下さい。
※ゲーム中は絶対にCDを取り出さないで下さい。

III・MSX2

A・ハード設定

・本製品はMSX2・MSX2+・turboR対応です。
・VRAM128Kバイト以上。
・FMパック対応です。

B・立ち上げ方

・ドライブ1に「ディスク1」をいれて電源を入れて下さい。タイトル画面が表示されます。

C・FM音源

・本製品はFM音源に対応しています。FM音源を内蔵していない機種は、別売りのFMパックをスロットに差し込むことで、グレードの高い音楽を楽しむことができます。

Ⅳ・PC8801

本製品はPC8801SR以降に対応しております。

A・ハード設定

・PC8801SR以降はモードを「V2モード」に設定して下さい。
・FH・MH以降
本体クロックを8MHzに設定して下さい。
・本製品は「サウンドボードII」に対応しております。内蔵型のFA・MA以降や、ボードの拡張をした機種は、通常のFM音源をグレードアップした音楽をお楽しみいただけます。

B・ディスプレイ

・本製品は、アナログディスプレイ専用版です。デジタルディスプレイには対応していません。
お手持ちのディスプレイがアナログかデジタルかを区別するにはNEC製のディスプレイであれば、型番がPC−KD8＊＊とつながればアナログ、PC−KD5＊＊とつながればデジタルディスプレイと判断できます。
他社のものでも使用できますが、アナログかデジタルかをメーカー、店頭でお確かめください。

C・立ち上げ方

・本体電源を入れて、ドライブ1に「ディスク1」をセットし、ドライブ2に「ディスク2」をセットして、リセットボタンを押して下さい。
タイトルデモが表示されます。

Ⅴ・PC9801

A・ハード設定

・対応機種一覧表　ハードの拡張無しで動作保証するもの。

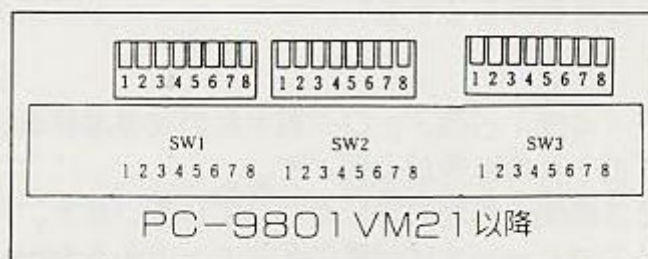
以下の表に示す機種は、拡張無しで動作保証されている機種です。
VM2/4、UV2/4は拡張が必要です。
詳しくは、「VM2/4、UV2/4の設定」を参照して下さい。

■NEC PC9801	■EPSON PC286/386
UV 11/21	PC-286
UX 21	286C
CV 21	286X
ES 2/4	286U
EX 2/5	286V
※UF	286VE
VM 11/21/41	286VF
VX 2/21/41	286VS
RA 2/5/21/51	286US
RS 21/41	286UX
RX 2/4/21/51	286VG
Do	286VX
Do+	286VJ
DX 2/U2/5/U5	PC-386
DS 2/U8/5/U5	386V
DA 2/U2/5/U5	386S
DA 7/U7	386VR
	386M
	386GE
	386GS

※ UFは一部の機種自体に動作が不安定なものがあります。

・ディップスイッチの設定

VM2／4、UV2／4のディップスイッチの設定は、P8の「VM2／4、UV2／4の設定」を参照して下さい。

コンピュータの動作環境を設定するスイッチが、本体前面下部にあります。
本製品の動作環境に合わせた設定を行ないます。
スイッチが下がっている状態がONです。
SW番号は向かって左から1、2、3と番号がついています。

ディップスイッチ基本設定

エプソンの機種や、VM11など、機種によって一部スイッチの設定が異なります。次項以降の表も参照して下さい。

■SW1	
1	ON
2	OFF
3	OFF
4	OFF
5	OFF
6	OFF
7	OFF
8	ON

■SW2	
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON
5	OFF
6	OFF
7	OFF
8	OFF

■SW3	
1	OFF
2	OFF
3	OFF
4	OFF
5	OFF
6	OFF
7	OFF
8	注1

注1　基本的に自由ですが、一部OFFの機種があります。
詳しくは次項の表を参照して下さい。

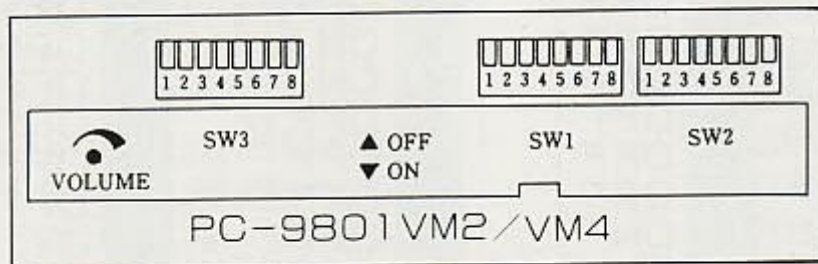
PC286、386シリーズ	PC9801VM11・UV11 VM21・Do
SW3の7をON SW3の8をOFF	SW3の8をOFF

・VM2／4、UV2／4の設定

■必要な拡張内容	・RAMを640Kバイト以上に拡張 ・16色ボードの拡張（VM2／4のみ）

①メモリの拡張について
PC9801　VM2／4、UV2／4はRAMが384Kバイトの機種です。
これらの機種はRAMの拡張が必要になります。RAMボードの拡張方法についてはハード本体付属の各マニュアルを参照して下さい。

②16色ボードについて
PC−9801　VM2／4は16色アナログ表示能力を標準装備していません。これらの機種は16色アナログボードの拡張が必要です。
拡張がされていない場合は画面の色がおかしくなってしまいます。
ボードの拡張方法についてはハード本体付属の各マニュアルを参照して下さい。

③ディップスイッチの設定
コンピュータの動作環境を設定するスイッチが、本体前面下部にあります。
本製品の動作環境に合わせた設定を行ないます。
スイッチが下がった状態がONです。SW番号は、向かって左から3、1、2と番号がついています。

■PC9801　VM2／UV2	拡張RAM使用時
SW2の5をON SW3の8をOFF	SW2の5をON SW3の6をON

B・ディスプレイ

・本製品は、アナログディスプレイ専用版です。デジタルディスプレイには対応していません。
お手持ちのディスプレイがアナログかデジタルかを区別するにはNEC製のディスプレイであれば、型番がPC－KD8＊＊とつながればアナログ、PC－KD5＊＊とつながればデジタルディスプレイと判断できます。

他社のものでも使用できますが、アナログかデジタルかをメーカー、店頭でお確かめください。

C・音源ボード

・FM音源を標準実装していない機種は、音源拡張ボードを装備することで音楽を楽しむ事ができます。

D・MIDI

・本製品は以下のMIDI音源に対応しています。お手持ちのMIDI音源が対応しているかどうかお確かめください。

ローランド社製	MT－32 CM－32L CM－64

・接続
PC9801にMIDIを接続するためには

1 別売りのMIDIボード
2 対応しているMIDI音源
3 MIDIケーブル

が必要です。それにつなぐ端子を間違えないように接続して下さい。
それぞれの詳しい接続方法については、MIDIボードやMIDI音源に付属のマニュアルを参照して下さい。

※MIDIを立上げる時は、SHIFTキーを押しながら立ち上げて下さい。

その2 操作方法

NIKO²はキーボード、ジョイスティックの両方でゲームをプレイすることができます。自分の好みで選択すると良いでしょう。
※FM TOWNSはジョイパッドのみ対応です。

A・キーボードでの操作

※スペシャルステージは「なぐるボタン」で弾をうちます。

1P

2P

B・ジョイスティックでの操作

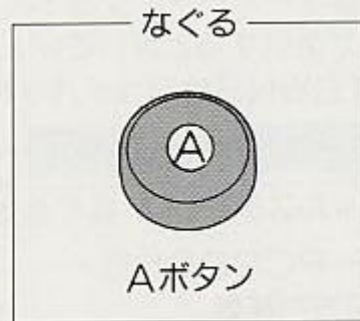
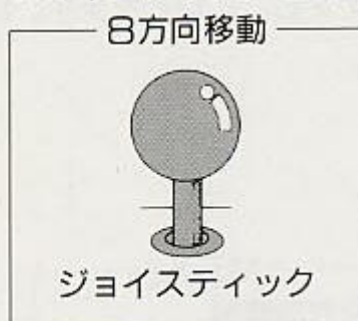
ジョイスティックでの操作は全機種共通です。

8方向移動

ジョイスティック

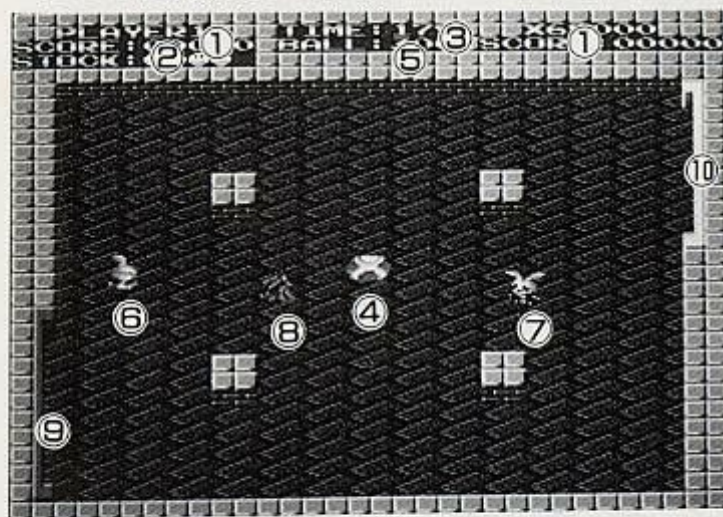
壁出す

Bボタン

なぐる

Aボタン

※スペシャルステージは「Aボタン」で弾を打ちます。

その3 画面説明

ここではNIKO²の実際のゲーム画面の説明をします。

※写真はX68000版です。

① 1P側と2P側のスコアです。
② ストックです。これが0になるとゲームオーバーです。
③ 残り時間です。
④ シューターです。ここからボールがでてきます。
⑤ 残りボール数です。
⑥ 1Pキャラクターです。
⑦ 2Pキャラクターです。
⑧ 審判です。ゲーム中、様々な雑用（?）をこなしてくれます。
⑨ 1Pゴールです。
⑩ 2Pゴールです。

その4 ゲームスタート

・タイトルが表示されると、画面にメニューが表示されます。
テンキーまたはジョイスティックの上下でコマンドを選択し、ジョイスティックのAかBまたはそれに相当するキーボードのキー（その2 操作方法参照）で決定します。
※TOWNSはジョイパッドのみ対応です。

A・メニューコマンド

1PLAY

1人でゲームをプレイします。コンピュータとの対戦で、全面クリアをめざします。
1ステージは8ラウンド構成で、全8ステージ（64ラウンド）です。

2PLAY

人間2人の対戦プレイを行ないます。勝利条件（何回勝つと勝ちか）とプレイするステージを選択します。

CONTINUE

ゲームオーバーになったラウンドから再開します。コンティニュー回数に制限はありません。

CONFIG

ゲーム環境の設定を行ないます。

■STOCK
一人プレイ時に、何回負けたらゲームオーバーかを選択します。

■MUSIC TEST
ゲーム中の音楽を聞くことができます。

その5 ルールについて

A・ルール

ゲームは全8ステージで、1ステージは8ラウンドで構成されています。合計で64面ということです。各ステージの最後(8ラウンド目)には、スペシャル面(後述)があります。
ゲームがスタートすると、シューターからボールが沢山出てきます。
ボールはブロック崩しのように、壁にあたると反射します。そのボールが画面上に大量に出てくるのですからパニック必至!!
一定時間内に、それを自分のゴールに押し込みます。
画面内のボールが一つ減ると、シューターから1つ出てくるといったことを繰り返し、ボールはトータルで300個出てくることになります。
残りタイムが0になるか、ボールが300個全てゴールした時点で得点の高い方が勝ちです。

B・キャラクターの行動

・壁だし

ゲームに戦略性を持たせる要素として、キャラクターは画面上に壁を出現させることができます。
壁は審判だけが消すことができ、プレイヤーは消すことが出来ません。
この壁出しを有効に使うと、ボールの反射角を操作して、展開を有利にできます。

・なぐる

キャラクターは相手を殴って邪魔することができます。殴られるとキャラクターは気絶して、審判が起こしに来るまで動くことができません。
さらに相手を気絶させると得点が入りますので、極端な話ボールをゴールに入れずに相手を殴り続けて勝つ事もできるのです。

・リアルタイムで拡大縮小

ゲーム中、得点の負けているプレイヤーはどんどん巨大化していくのです。得点差が小さくなると、今度はもとの大きさに戻っていきます。
これがゲーム中で大きくなったり小さくなったり、リアルタイムでおこるのです。このせわしなさは見ていてもう、笑うしかありません。
負けていると大きくなるということは、負けている方が有利になるということで、抜きつ抜かれつの展開が起こりやすくなり、面白さが増します。

C・スペシャルステージ

各ステージの最後(8ラウンド目)にこのスペシャル ステージが待ち構えています。
スペシャル ステージは今までの面とはうって変わって、1対1の弾の撃ち合いをします。
注意するのは、キャラクターの撃った弾は壁に当たると反射します。そして自分の撃った弾に当たってもミスになることです。
10回ボールにあたると負けです。
2人対戦プレイモード時の最後の面も、このスペシャルステージになります。そしてこの面に勝つと2面分のポイントが入るのです。

その6 お得な知識

A・ボールの得点

1ラウンド中に出るボールの数のトータルは300個。そのボール1個の得点は、一律ではありません。
ボールの得点は、ボールの残りが少なくなるにつれて高くなっていくのです。という事は、ボールの残数が少なくなるほどボール1個の重要性が増すという事になるのです。

得点表

ボールの数	1〜100	〜180	〜220	〜240	〜280	〜299	300
得　　点	10	20	40	60	80	100	500

B・反射の法則

当然の事なのですが、キャラクターにボールが当たるとボールは反射します。NIKO²は、キャラクターに当たった場合の反射が少々特殊なのです。
原理としては、キャラクターのどの部分にボールが当たったかでその後のボールの方向が決定されます。どの方向から当たったかは関係無いのです。

①	②	③
④		⑤
⑥	⑦	⑧

キャラクター

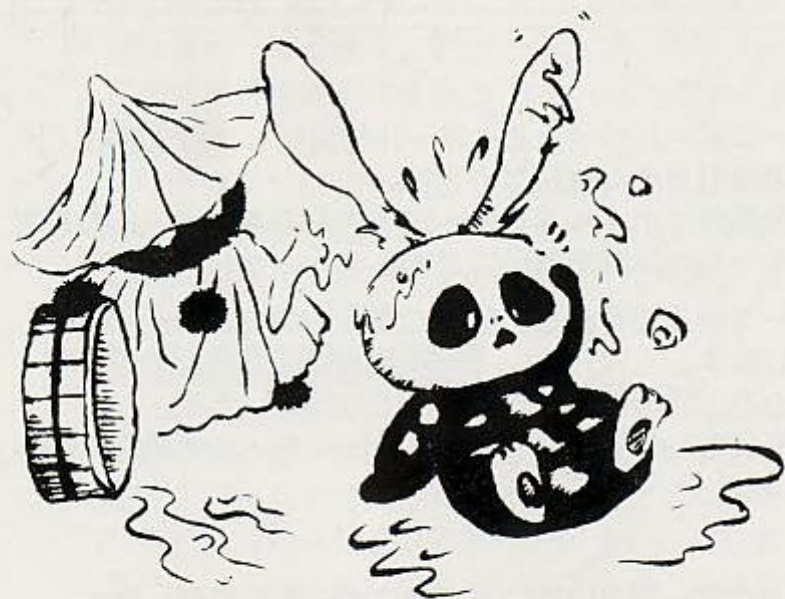
左図はキャラクターモデルです。①の部分にボールが当たると、ボールは左斜め上に反射します。
⑥の部分に当たると右、⑦の部分に当たると下に反射します。
他の部分も同様の反射をします。なれると、自由にボールを操作できるようになるでしょう。

※MSX₂版はキャラクターの向いている方向にボールが反射します。

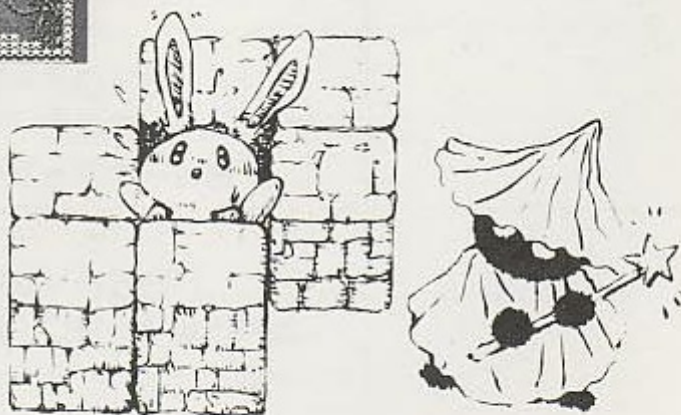
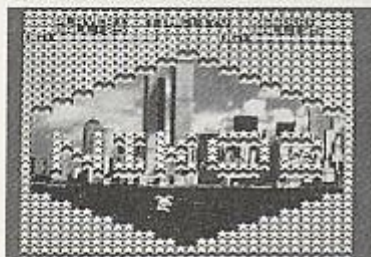
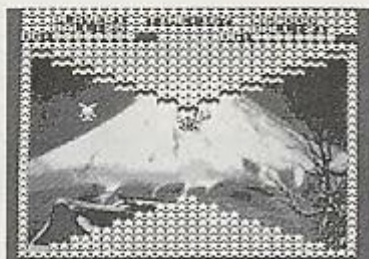
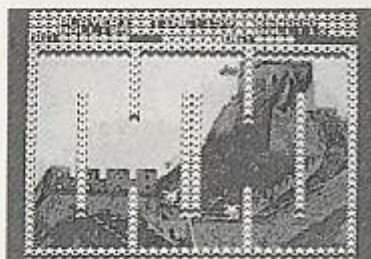
C・アイテム

NIKO²は、キャラクターが壁を出すことができますが、その壁を審判が消した時にまれにアイテム(にんじん)が出現することがあります。
アイテムの効果は6種類ありますが、外見は全て同じです。つまり取ってみるまで解らないということです。

以下にアイテムの種類を説明します。

①ボーナス(BONUS)	ボーナス得点が加算されます。
②巨大化条件チェンジ (EXCHANGE)	1回取るごとに巨大化の条件(キャラクターの行動の項参照)が反対になります。
③スピードアップ(SPEED UP)	移動スピードが速くなります。
④金縛り(HOLD)	動けなくなってしまいます。
⑤スロウ(SPEED DOWN)	移動スピードが遅くなってしまいます。
⑥集中(ON GOAL)	画面内の全てのボールが自分のゴールに集中します。

その7 ステージ紹介

このゲームは全8ステージです。各ステージの最後(スペシャルステージ)の面は背景が、世界各国の名所になっています。
※PC88、MSX2版には、名所のグラフィックはありません。
※FM-TOWNSは、各ステージの4、8ラウンドが世界各国の背景となっています。

ステージ1	ソビエト	赤の広場
ステージ2	フランス	エッフェル塔
ステージ3	中国	万里の長城
ステージ4	日本	富士山
ステージ5	オーストラリア	コアラ
ステージ6	スペイン	ガウディ建築
ステージ7	イギリス	ビッグベン
ステージ8	アメリカ	マンハッタン

ユーザーサポート

■ゲームが動かない

・もしプログラムが立ち上がらなかったり、立ち上がっても正常に動作しなかった場合は、もう一度「セットアップ」の項をお読みになった上で以下の事をお確かめ下さい。

1・ディスクは正しくセットされていますか?

2・周辺機器と本体の接続不良はありませんか?

3・お手持ちの機種とソフトが対応していますか?

・それでも正常動作しなかった場合はお買い求めのソフト・ショップに御相談ください。他の同機種のハードウェアで正常動作する場合、お手持ちのハードが故障している可能性があります。
以上の点を御確認のうえで、なお製品の不良と思われる場合は「ユーザーサポートシート」に所定の事項を記入のうえで、パッケージごと当社「NIKO²」ユーザーサポート係までお送り下さい。
ユーザーサポートシートは、コピーしてお使い下さい。

※お客様の誤動作による故障、不良の場合は規定の手数料を申し受けますのでご了承下さい。
尚、まことに勝手ながら、本製品のユーザーサポートは、1992年12月31日をもって終了させていただきます。

■ユーザーサポートあて先

〒170
東京都豊島区北大塚2－10－6
6セントラルビル6F　ウルフ・チーム
NIKO²ユーザーサポート係

サポート専用電話
03－5394－5565
月～金　午前10時～午後5時迄

ユーザーサポートシート（コピーしてお使いください）

○機種名等できるだけ詳しく記入して下さい。

⚜お客様氏名：

⚜お客様住所：

⚜お客様電話番号：

⚜コンピュータ機種名：

⚜拡張メモリー（有／無）：

⚜ディスプレイの機種名：

⚜マウス（有／無）：

⚜サウンドボード：

⚜MIDIボード：

⚜MIDI音源機器：

⚜その他拡張ボード：

⚜問題点に至るまでの操作：

〒170　東京都豊島区北大塚2-10-6　6セントラルビル6F